

シドニー日本クラブ
第 479 号

JCS だより

1月号
2026



2026年新年のご挨拶 山中総領事・渡部会長

Matsuri Japan Festivalは大盛況！

キラリと光る●Akira Isogawaさん

JCS日本語学校が終了式・卒業式・お楽しみ会を開催

新連載●イチオシ！YouTube

新連載●バイクおばちゃんが行く！

会費納入届
会費納入がまだの方
最終ページの
納入届参照



2026年新年のご挨拶



シドニー日本クラブ名誉会長 在シドニー日本国総領事 山中 修

シドニー日本クラブ(JCS)の皆さん、新年のご挨拶を申し上げます。

はじめに、昨年12月に発生したボンダイビーチでのテロ事件につき、被害にあられた方々とその御家族に心からのお悔やみを申し上げるとともに、今後とも在留邦人の皆様の安全の確保を第一に領事サービスの提供に努めています。

さて、私自身当地に着任して1年以上が経ちました。その間、NSW州の各地に住む方々との交流機会にも恵まれて、皆さまのご活躍を直接目にすることができます。

JCSの皆様におかれでは、昨年1年を通じて、7月のJCSフェイト、8月の戦後80周年記念イベント「Pass the Baton」、9月のJCS日本祭りの開催、そして12月のMatsuri Japan Festivalでは運営の中核を担われるなど、日本人コミュニティの交流促進のみならず、日本文化の発信に大きく貢献いただき、改めて敬意を表したいと思います。

皆様のご尽力もあり、日本に対する関心は益々高まっていると感じています。豪州からの訪日観光客数も2025年10月現在で約85万人に達するなど、過去最高を更新しており、年間百万に達しそうな勢いです。加えて、昨年はチャンシヴォン州産業・貿易大臣やビーズリー州総督が訪日し、広沢名古屋市長がシドニー市を訪問するなど、多くの要人往来がありました。更にNSW州議会では9月に日本友好議連が設立されるなど、2025年は日・NSW州関係の深化を実感する出来事が多くありました。

本年は、日豪友好協力基本条約の署名から50年に当たります。JCSの皆様と共に、日豪関係の更なる発展に向け、この機運を活かしていきたいと思います。3月には豪州でサッカー女子アジアカップが開催される予定であり、まずは皆様と共に、なでしこジャパンとMatildasを応援したいと思っています。また年内には西シドニー空港が開港する予定です。新たなゲートウェイの開港により、日豪間の人的交流が一層活発になることを期待しています。

この50周年という記念すべき年に、日豪交流を皆さんと共に盛り上げていきたいと思いますので、引き続きご支援とご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

2026年が皆さんにとって幸多き一年となることを心よりお祈り申し上げます。



シドニー日本クラブ会長 渡部 重信

シドニー日本クラブ会員の皆さん、そしてこの「JCSだより」をお読みになっていらっしゃる全ての方々へ新年のご挨拶を申し上げます。

今年も元旦を迎、めでたい気分で新年を迎えようと思うのですが、今だに一昨年の能登半島地震を思い起こしてしまいます。昨年5月に帰国した際は、解体され更地となつた故郷の家のあった場所に立ち、生まれてから高校を出るまで過ごした家が跡形も無くなり言葉に表せない気持ちに襲われました。しかし、9月になって町の伝統あるキリコ祭りが前年以上に賑やかに行われたことをニュースで見て元気をもらった想いでした。JCSでも祭りは最も力を入れている行事ですが、その地域に共に生きる人たちの出逢いの場を作り、人々の絆を深め、参加した一人一人の心に明日に繋がる力をみなぎらしてくれる貴重なご縁を繋ぐ場であると確信しています。ですから、今年もシドニーでの祭りの開催に向けてしっかりと準備していきたいものと思っていますので、また皆様一人一人のご協力、ご参加をよろしくお願ひ申し上げる次第です。

JCSは昨年中、9月のチャッツウッドでの日本祭りを主催し、12月のシティでの祭りの後援を行いましたが、今年は特に子供達がお神輿を担いで会場を練り歩く姿が印象に残りました。また、7月に恒例のフェイトを開催し会員相互の親睦を図り、8月には戦後80周年記念イベント「Pass the Baton」を被爆者として世界中で講演を行なっている小倉敬子氏を広島から迎え、シドニー近郊の高校生らを招き盛大に開催できたことは特筆すべきことでした。

今年は、日豪友好協力基本条約署名50周年という記念すべき年ということで、是非この勝縁に当クラブの日本語学校の関係者、傘下の団体の皆様も含め、JCSの全ての会員の皆様が一緒になって、さらに他の日系団体や一般の方々も巻き込んで、参加する人たちの記憶に残る記念行事を考えたく思っておりますので、是非ご意見やご要望をお知らせ頂けますと幸甚です。そして共にこの記念すべき年を彩っていきたく思っております。

JCSにご縁のある皆様にとりまして2026年が健康に恵まれた平和で素晴らしい年となりますことを念願し、新年の挨拶とさせて頂きます。

理事会から

●2025年12月定例理事会 12月3日(水)7:00pm-9:00pm(対面とzoom)
渡部会長、コステロ副会長、リヒター会計担当理事、ホジュキンソン理事、斎藤理事、林理事、マーン専門理事、松隈事務局長、葛西理事、飯島専門理事、近藤・原(ダンダス校副代表)、多田会計監査、チョーカー相談役、神田領事。(欠席:水越副会長、阿部理事、堀場理事、小柳専門理事) ●会員世帯数:340世帯(一般67世帯・学校273世帯)

◆総領事館からの連絡

(1)年末年始の休館と各種申請について

年末年始(12月25日～1月4日)の間、当館は休館となります。新年は1月5日(月)からになります。

(2)治安・安全情報

シドニーでは「セクストーション」という名称の犯罪被害が確認されています。「セクストーション」とは「セックス(性)」と「エクストーション(脅迫)」を合わせた造語で、インターネットを通じた「性的な脅迫」のことです。

SNSなどインターネット上で出会った異性に対して「恥ずかしい姿の見せ合いをしましょう」と持ちかけ、裸の画像や動画を送信させた後、その「裸の画像」を使用して脅迫し、電子マネーや金銭などを脅し取る手口です。また、その画像を入手した「別の者」から脅迫されるケースもある模様です。犯罪被害を防止するためには、以下のことに留意する必要があります。十分ご注意ください。

- ・インターネット上の知らない人物との接触に注意する
- ・裸の画像や動画を含め、他人に公開されることは困る自分の情報を安易に送信しない(デジタル・タトゥーと呼ばれるように、インターネット上で拡散された画像や動画を削除することは不可能であることに予め留意すること)
- ・被害にあった場合は、速やかに現地の警察へ連絡を



◆12月開催の日本の祭りについて

日時:12月7日(日)11時から6時

場所:Wentworth Park Sporting Complex

参加理事(渡部、葛西、松隈、マーン、斎藤、ホジュキンソン)。

イベント運営に、水越、チョーカー、リヒター、多田が参加。

JCS出店:金魚・ヨーヨー、JCS+Kimono Australia

倉庫荷物搬出:12月5日(金)4:00pm集合

JCSバナー、金魚ヨーヨーセット、法被、紅白幕、打掛け着物、着物棒、ボランティア用のTシャツを倉庫から搬出する。

◆2026年理事会会場予約

対面理事会:2月、6月、7月、8月x2、9月、11月、12月

2026年JCSチャツウッド日本祭り:9月13日(日)最終日
程に関しては、カウンシルに要確認

◆その他

○Public Liability Insurance(第3者損害賠償責任保険)

保険料負担金:対象-Hula Alohaとソーラン踊り隊

毎年保険料が10%上がっているため、保険料負担金を現行の\$55から\$65に上げることで承認された。

○現副会長のコステロに代わり、松隈が事務局を兼務する副会長として就任することが承認された。

◆学校関係

○シティ校:15クラス、生徒数201名、136世帯

最終日の12月13日は、終了式・卒業式を行います。今

年は、2名の生徒が卒業します。中山総領事と神田領事に卒業式にご列席いただきます。初の試みで上級生(上3クラス)による合唱の披露があり練習に励んでおり当日がとても楽しみです。今学期は、来年に向けてのクラス編成や、教員・委員確保と大変でしたが、どうにか来年の目処がつきました。今年も教員、保護者の皆様のご尽力のおかげで無事終えることができそうです。本当にありがとうございました。

○ダンダス校:11クラス、生徒数141名、96世帯

11月のダンダス校では、多くの入学希望者があった中、体験入学、アセスメント授業を経て、厳選された生徒達に合格通知を発送した。来年度の新入生達を迎えるにあたり、役員一同、教員と連携をとりながら進めている。過去最多の入学申込で、多くの生徒をお断りすることになったのが残念。毎年その傾向になるのであれば、クラスの増設を検討していく必要がある。

最終日は、終業式、卒業式を兼ねた校内発表会を開催。一緒に懸命練習をし、1年間の集大成として、生徒達が発表する姿を見るのは、なんとも嬉しいものだ。今年も素敵な発表会になるようしっかりとサポートします。また、今年は3名の生徒が卒業するにあたり、卒業証書の準備を進めている。長い間頑張って通い続け、日本語を習得された彼らには、胸を張って、誇りを持って、日本語を継承された証を受け取ってもらいたい。

○エッジクリフ校:5クラス、生徒数58名、44世帯

エッジクリフ校は四学期が8週のため、他校より1週早い12月6日が最終日。この日は終業式とお楽しみ会を全校で行います。終業式では、今年休まずに登校してくれた子に皆勤賞を、また、ミニスターズアワードやスピーチフェスティバル、アートコンテストに参加した子への表彰状の授与式を行う。

また、四学期を通じて各クラスがお楽しみ会の出し物の準備を進めている。特に国際クラスのさくら組では、「おむすびころりん」の劇を練習しています。このクラス発表では、特に頑張った子に今年のMVPとして二人選出する予定。今年は誰がMVPに選ばれるか楽しみ。

親睦の会 だより

会員 募集

シドニー日本クラブ会員の親睦と交流の集いです。和やかな雰囲気の中、和食弁当を食べながらの情報交換後には、様々な趣向を凝らした内容で楽しんでいます。遠足や野外活動も行っています。

JCSシドニー日本クラブの会員でしたら入会金は不要。年齢・性別・国籍は問いません。ビジターも大歓迎です。新しい輪を広げましょう。お気軽にご参加ください。

親睦の会役員

会長:飯島浩樹／事務局長:岩崎麻由／会計:長谷川潔／ボランティア:齊藤なお子、なかのあやこ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。2026年が、皆さまにとって穏やかで実り多い一年となりますことを心よりお祈りいたします。

■2025年12月23日(火)

ボンダイビーチ銃撃事件現場に献花

昨年末、ボンダイビーチで発生した反ユダヤ主義的動機と見られる銃乱射事件は、被害者やご遺族のみならず、シドニーに暮らす私たち日系コミュニティにも大きな衝撃を与えました。

事件発生から約1週間後の12月23日、JCS「親睦の会」を代表し、容疑者が銃撃を行った公園前の歩道橋にて、平和への祈りを込めたメッセージとともに献花を行いました。(写真下)



その場で、偶然居合わせたユダヤ系市民のジェレミーさんという若い男性から声をかけられました。彼は日本滞在の経験があり、母親が日本で英語教師をしていたとのこと。「日本人はユダヤ人にとってとても良い友人です。悲しく衝撃的な事件でしたが、こうして花を手向けてくれたことに心から感謝します」と語ってくれました。

また今回の事件を受け、第二次世界大戦中に“命のビザ”で知られる日本人外交官・杉原千畝のビザによってホロコーストを逃れた祖父母と父を持つユダヤ系作家、リンダ・ロイヤルさんを取材しました。彼女は「日本人は美しく、親切で、礼儀正しく寛大な人たち。6000人の命を救った人物が日本人であることは何の不思議もありません。杉原千畝のように“正しいことをした人”的存在を誇りに思って、次世代に伝えてほしい」と語り、その言葉が深く胸に残りました。

■2025年12月2日(火)

沖縄フード＆ミュージックナイト開催

JCSおよび「親睦の会」主催ではありませんが、12月2

日、シドニー市内の鱈屋レストランにて豪州かりゆし会主催「Okinawa Food & Music Night」イベントが開催されました。山中修シドニー日本総領事ご夫妻、シドニー市のロバート・コック副市長ご夫妻をはじめ、多くの来賓やJCSと「親睦の会」メンバーが参加しました。



「沖縄Food & Music Night」イベント会場で盛り上がる参加者

会場では、沖縄から来豪したミュージシャン上江洌みやさんによるライブ演奏が行われ、伝統民謡とともに沖縄料理や泡盛が振る舞われました。終盤には約80名の参加者が総立ちとなり、音楽に合わせて踊るなど、会場は大いに盛り上りました。

■2025年12月7日(日)

Matsuri Japan Festival 2025 盛況

日豪友好30周年を記念して2006年に始まったシドニー最大級の日本祭り「Matsuri Japan Festival 2025」が、Wentworth Parkで開催されました。JCSからは理事を含む多くのメンバーがボラ



「Matsuri Japan Festival 2025」会場の山梨県ブースでの集合写真

ンティアとして参加し、「親睦の会」メンバーもブース運営や各種アトラクションを通じ、3000人を超える来場者に日本文化や各地の魅力を紹介しました。

本年も、文化交流と相互理解を大切にしながら、親睦の輪を広げてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(文責:飯島浩樹)

※「親睦の会」では、来年2月14日に、「新年会」を開催する予定です。場所・時間等は追ってお知らせしますので、多くの方のご参加をお待ちしています。また、会ではお手伝いのボランティアを募集しています。入会やお問い合わせは、shinbokunokai25@gmail.co (事務局:岩崎)までご連絡ください。

JCSのクラブライフ



シドニーソーラン踊り隊

毎週土曜日に小学校の体育館で練習をしています。私たちの踊りが少しでも日豪文化交流に結びつくようと様々なイベントで踊ります。一緒に踊りたい方、大歓迎！お気軽に練習にご参加ください。

練習日:毎週土曜日2時～3時

場所:Cammeray Public School (Palmer Street, Cammeray)

お問い合わせは、Email:jcs.soran@gmail.com まで。

<http://sydneysoran.wix.com/dancetroupe>



JCSフラアロハ 笑顔で踊るハワイアンダンス

体を動かす気持ち良さを感じながら、人と人との触れ合いを大切に、明るく楽しく美しく、健康第一をモットーに和気あいあいと踊っています。毎年数回のパフォーマンスでは思い切りオシャレなハワイアンスタイルで笑顔で踊ります。

ご参加されませんか？

練習は毎週火曜日11時～12時30分 Chatswoodで行っています。お問合せは、Email:jcshulaaloha@gmail.com フラアロハ事務局までお気軽にどうぞ。



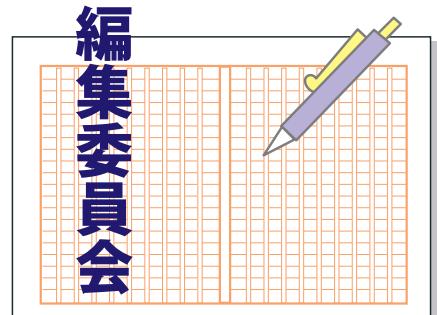
JCSソフトボール部

ソフトボール大会は毎年5月と11月の2回開催しています。2024年秋季2位、春季優勝。2025年秋季(中止)、春季優勝！

JCSソフトボール部では女性選手を急募中です！一緒に優勝目指しませんか？家族で応援に来ませんか？興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール:adasada@hotmail.com または、

電話:0402-048-570 (ソフトボール部部長 安達定儀 さだのり)



編集委員会

シドニー日本クラブの会報誌「JCSだより」を編集しています。会員からの投稿をお待ちしています。

また、誌面作りに興味のある方、一緒に会報誌を作りませんか？

興味のある方は是非、ご連絡ください。

メール:k.murn@jcs.org.au (JCSだより編集長 マーン薰)



教育支援委員会

シドニー日本クラブの日本語学校三校の運営に関する支援を行っています。その他、継承日本語教育についてのセミナー活動なども行っています。

お問い合わせは、以下までお願いします。

メール:jcs@japanclubofsydney.org または、

電話:0421-776-052 (JCS事務局)

躍動の年、丙午(ひのえうま)

新年あけましておめでとうございます。皆様どのような休暇をお過ごでどうぞ。

昨年度末は天候にも恵まれた中、在シドニー日本国総領事館より山中総領事、神田領事を来賓にお迎えし、多くの保護者の方々にもご列席を賜り1年間の学習の締めくくりの終了式と、卒業生2名を送り出す卒業式を執り行うことができました。



2026年は60年に1度の丙午(ひのえうま)の年となり、情熱や強い意志を象徴し、変化を伴う年とされております。シティ校も生徒・保護者・運営が一体となり飛躍を遂げることができる1年にできるようにみんなで頑張っていきたいと思います。

＜卒業式ハイライト＞

14年間に渡りご家族やお友達の支えを得ながら一生懸命に日本語の学習を続けてきた2人の門出です。運動会で応援団長として大活躍していた2人が華やかな袴姿で入場すると、在校生たちもしっかりと静かに式典に臨むことが出来ました。厳かな式典の後半には思い出の写真スライドショーや高学年生徒による合唱が披露され、温かな雰囲気の中で卒業生を見送ることができました。改めてご卒業おめでとうございます！



＜終了式ハイライト＞

終了式では22名の皆勤賞受賞者が学校代表より賞状と記念品を授与されました。また、2025年度の振り返りとしてシティ校ソーラン隊の活動報告、ミニスターズアワード、スピーチフェスティバルに出場した学校代表者の紹介、CLSアートコンペティションの参加者の紹介等が行われました。式典の最後には本年度で退職される先生方と委員より生徒たちに対しての温かいお言葉をいただきました。皆さんのお力添えに改めて感謝するととも

に今後のご活躍をご祈念申し上げます。

2026年度のクラス名は生徒からのリクエストをもとに教員、スタッフにて投票を行い「和菓子」をテーマとしたクラス名となりました。可愛らしいものから渋いものまで先生方のセンスが光るクラス名となっております。どんなクラス名になったのか、今後のクラス紹介を楽しみにしていただければ幸いです。食べたことのない和菓子でもクラスの名前をきっかけに日本を訪れた際やアジア系のスーパーなどで見かけた和菓子を試してみたい！と思ってくれたら嬉しいですね。「食」はオーストラリアの方々にとっても興味深い日本文化です。様々なことをきっかけに子どもたちの学びが拡がる1年となりますように。

クラス紹介 水無月組

水無月組はシティ校の最上級生クラスで、男女8名ずつ、Y8からY12の16名です。昨年末には2名の卒業生を送り出しました。シティ校の在校生が二人の背中を追って日本語学習を続けてくれることを願っています。



昨年の一学期に初めて担任として生徒達に会ったとき、子ども達の日本語力の高さに驚きました。日常会話はとても自然で、日本人同士の会話と何ら変わらず、語彙力・表現力も大変豊かでした。また日本語学習に意欲的で、今年度は生徒の希望で中学生の読解ドリルを使用します。

昨年四学期には、「AIとのくらし」をテーマにディベートを行い、肯定側・否定側・聞き手の三つの役割を全て経験しました。それぞれの立場から自分の意見を分かりやすく伝えることができ、最近まで日本にいた生徒から「本当にオーストラリアにいるのか分からなくなるくらい、みんな自分の意見を日本語で発言できていた」との感想が寄せられるほど、白熱した議論となりました。年度末には谷川俊太郎の「生きる」を鑑賞し、クラスの詩集『生きる』を作成しました。瑞々しい感性がたくさん詰まった十六人十六色の作品集となり、一人一人の個性が輝いています。2026年には子ども達がどのような成長を見せてくれるのか、とても楽しみにしています。

(担任:中野利香)



JCS日本語学校ダンダス校 JCS Japanese School Dundas

学校 Dundas Public School (85 Kissing Point Road, Dundas NSW 2117)

連絡先 PO Box 1072, Dundas, NSW 2117 授業 毎週土曜日／9:30～12:15

Email jcs-jpschdundas@live.com Web <http://dundas.japanclubofsydney.org/index.html>

新年明けましておめでとうございます。

午年は「勢いよく前進する」象徴とも言われています。本年も生徒たちが自分のペースでしっかりと成長し、時には思いきり駆け抜けるような挑戦ができるよう、教職員運営役員ともに万全の体制でサポートをしていく所存です。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

2025年度の銀河組は、男子8名のクラスでした。幼稚部から同じクラスで今まで上がってきたので全員がとても仲良しで、時々ちょっとおしゃべりが過ぎて怒られてしまうこともありましたが、とてもエネルギー溢れる楽しいクラスでした。

小学校5年生の国語の教科書「銀河」を使い、教科書音読、新出漢字の学習、既習漢字の復習をメインに毎週日本語を学習しました。また教科書以外の日本語にも触れるためニュースを音読したり文法問題などにも意欲的に取り組みました。やはり5年生の学習内容にもなると、漢字が読み書きともにとても難しくなり、生徒達にとっては漢字テストの勉強も大変なようでしたが毎週それぞれの頑張りを見せてテストに臨みました。

授業以外にも5月の母の日には、筆ペンを使って見本を見ながらお母さんに感謝状を書きました。6月には運動会、8月は「百人一首」の特別授業に参加、9月には父の日クラフト、調理実習でカレーも作りました。生徒たちにとっては、お友達と一緒に作るカレーはとても思い出深い味になったようです。



4学期最終日はダンダス校の校内発表会があり、銀河組は「今年思い出に残っていること」についての俳句を生徒たちが一句ずつ作って発表し、その後早口言葉の歌「かむかもしかもにどもかも」を全員で元気よく歌いました。

生徒たちに、2025年を振り返ってアンケートに答えてもらいました。

Q1. 今年の授業で楽しかったことはなんですか。

Q2. 今年の授業あまり好きではなかったことはなんですか。

Q3. 今年一年、日本語学校で自分が一番「がんばったな」と思うことはなんですか。

◎バレーラかい A1.

楽しかったことはクラ

フトや折り紙を作ること

でした。A2. 好きじゃ

なかつたことはなかつ

た!。A3. 運動会。勝つためになんでもしました

◎築山りょうすけ A1. 調理実習。みんなでカレーを作

って楽しくて美味しかった。A2. 避難訓練。A3. 漢字テス

ト

◎マックニーたいが A1. カレーを作ったこと。A2. 漢字

テスト。A3. 日本語でコミュニケーションをとること

◎関矢カイ A1. 折り紙をした時とても楽しかった。A2.

あまりない。A3. 漢字テストを一番がんばった。

◎松枝ゆうと A1. カレーを作った時。A2. 漢字テスト。

A3. 漢字テスト。

◎ファイルウッドかい A1. 調理実習の時に野菜を切

ったこと。A2. 漢字テストの勉強をする時にストレスを感じ

ること。A3. 漢字テストの勉強。

◎山科ごおき A1. 調理実習、父の日クラフト、運動会、

母の日クラフト。A2. すごく難しい漢字テストの時。A3.

漢字テストと運動会。

◎藪木つばさ A1. 調理実習。A2. 特になし。A3. 宿題。



みんな毎週の漢字テストにストレスを感じながらも(笑)頑張ってテストに臨んでいたようですね。そして毎年のことですが調理実習は大人気でした。

昨年も例年同様、保護者の皆様や学校の運営委員の方々からの多大なるご協力、また諸先生方からの温かいご指導をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。これからも生徒達が毎週楽しく日本語や日本文化を勉強できるよう尽力してまいります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

(銀河組担任:スコットみゆき)

エッジクリフ校から新年のご挨拶

皆様、新年明けましておめでとうございます。今年も私達は教員、アシスタント、ボランティア、運営委員で力を合わせて生徒達が楽しく通える学校づくりをしていきたいと思います。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

家族・学校みんなで楽しむ*お楽しみ会*

12月6日(4学期第8週目)、無事に2025年度を終了しました。最終日は恒例のお楽しみ会が開かれ、全校揃っての表彰式やクラス発表が行われました。今年は、アートコンペティションへ参加してくれた生徒が多く、カラフルで素敵な絵をみんなに披露してくれました。日本語の勉



強だけでなく、様々な分野で活躍てくる生徒達にはこれからももっと活躍してほしいと思います。毎週の授業で準備を進めてきたクラス発表は、親御さんが子供の日本語力の成長を見る良い機会になっています。今年も幼児部の歌やダンスから小学部の言葉遊び作文など思わず笑顔になってしまうような発表ばかりでした。家族も学校関係者も子供達の成長を嬉しく思いました。

◎かしわ組:ダンスと歌

可愛い幼児部の子供達は、昔話や童謡から流行りの曲まで幅広く様々な内容を通して日本語学習を進めてきました。発表会では、そんな子供達が今年はまっていた『ポケダンス』とひらがな学習に役立った『あいうえおのうた』を披露してくれました。

◎ひのき組:歌とアート

発表会に向けて様々な童謡を学びながら、「手のひら



に太陽を」が気に入った子供達は、クラス全員で力を合わせて仲良く元気一杯に歌い上げてくれました。教室にはカラフルな足形や手形で彩られた動物達の可愛らしい絵も飾ってくれました。

◎かえで組:言葉遊び*あいうえお作文

毎年工夫の凝らされた言葉遊びを指導してくださる、つさこ先生のクラスはあいうえお作文で笑いを誘ってくれました。作文に合わせて作られた折り紙もとても上手に折られていました。



◎つばき組:自分の興味や関心についての発表ビデオ

つばき組は1年を通して、何かについて調べて発表したり、学習内容に関連した映像作品を作ることに取り組んできました。その成果を1年お最後にしっかりとビデオを通して見せてくれました。

◎さくら組:日本語劇【おむすびころりん】

毎年の恒例になっている国際クラスの日本語劇、今年は【おむすびころりん】に挑戦しました。なかなか揃って練習することができませんでしたが、各自が自分のセリフを一生懸命覚えながら頑張ってくれました。



ここで余談ですが、エッジクリフには毎年のお楽しみ会に欠かせない人物がいます。赤いオーバーオールと可愛い笑顔が目印の『ここペコちゃん』です。ペコちゃんじんけんなどで毎回場を盛り上げてくれるここペコちゃんですが、2026年のお楽しみ会ではバージョンアップを狙っているようです！ペコちゃんがバージョンアップするとどうなるのでしょうか？今からすでに年末が楽しみです。



総領事館からのお知らせ

※在シドニー日本総領事館からのメールマガジンの抜粋です。総領事館からメールマガジンが発信されていますので、こまめに最新情報を得るようにしてください。

治安・安全情報

(1)ボンダイビーチでのテロ事案に伴う注意喚起

昨年12月14日夕刻、シドニーのボンダイビーチで銃撃によるテロ事案が発生しました。ユダヤ教関連施設やデモ抗議集会場の周辺等、ヘイトクライムやテロの標的とされやすい場所にはできる限り近寄らないでください。

ユダヤ教の行事のみならず、年末年始の大型行事や不特定多数の人々が集まる場所では十分注意してください。邦人の皆様におかれましては、不測の事態を避けるために最新の情報把握に努めるとともに、特にユダヤ教記念日・祭日前後には、シナゴーグをはじめとしたユダヤ教関連施設やデモ抗議集会場の周辺等、ヘイトクライムやテロの標的とされやすい場所にはできる限り近寄らないなど、自らの安全確保に努めてください。直近で予定されているユダヤ教関連主要行事は以下のとおりです。

- Hanukkah(光の祭): 2025年12月14日から22日
- Pesach(過越祭): 2026年4月1日から4月9日予定

年末年始に向けて多くの大型行事が予定されます。不測の事態に備え、不特定多数の人々が集まる場所では十分に注意してください。万が一被害に遭った場合や邦人の被害を認知した場合は、警察(000番)に通報し、対応を依頼するとともに、当館までご一報ください。

(2)匿名・流動型犯罪グループに関する注意喚起

海外における闇バイトに応募し、犯罪組織等に「かけ子」として海外で特殊詐欺に加担させられるケースや意図せず違法薬物(大麻等)の運び屋として犯罪に加担してしまい、現地警察に拘束又は保護される事案が引き続き発生しています。

万が一、海外における闇バイトに応募してしまったと感じた場合、一人で悩み、抱え込むことなく、家族等の近しい人や外務省、警察等に助けを求めてください。

海外における闇バイトに応募した結果、特殊詐欺や違法薬物の密輸等の犯罪に加担してしまった(加担させられた)と感じた場合には、現地の日本大使館・総領事館にも遠慮無くご連絡・相談をしてください。

詳細は以下のリンク先をご確認ください。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2025C056.html

(3)特殊詐欺についての注意喚起

非対面の方法で相手に接触し金銭をだまし取る、いわゆる特殊詐欺が海外でも発生しています。日本国大使館職員、日本国総領事館職員、日本の警察官や税関職員等の日本政府の職員を騙るケースも確認されております。日本の公的機関が正式な手続によらず送金を要求することはあります。身に覚えのない不審な電話、電子メール、SNS等に安易に反応しないなどの対策をとってください。日本以外に居られる際に、少しでも不安を感じたら、お近くの日本国大使館、総領事館にご相談ください。詳細は以下のリンク先をご確認ください。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2025C057.html

(4)インターネットを通じた脅迫に関する注意喚起

シドニーでは「セクストーション」という名称の犯罪被害が確認されています。「セクストーション」とは、性を意味する「セックス」と脅迫を意味する「エクストーション」を合わせた造語で、インターネットを通じた「性的な脅迫」のことです。インターネット上で出会った異性に対して「恥ずかしい姿の見せ合いをしましょう」と持ちかけ、裸の画像や動画を送信させた上で「裸の画像をお前の知り合いに送るぞ」と脅迫し、電子マネーを含む金銭などを脅し取る手口です。被害者が画像を送付した後に、また別の者が出てきて「写真を保存した、拡散されたくなかったら指定する口座に500ドルを入金しろ」等と要求されることもあります。被害防止のためには、①インターネット上の知らない人物との接触に注意する②自分の裸などの動画や写真は決して他人に送信しない(インターネット上で拡散すると、画像を削除することが不可能)③知らない人から勧められたアプリは絶対にインストールしないことを認識して、犯罪被害に遭わないよう十分にご注意ください。

総領事館からお願い(在留届の提出)

外国に3か月以上滞在する日本人は、最寄りの大使館や総領事館等に「在留届」を提出することが義務付けられています。大規模な災害が発生した場合など、当館では、オーストラリアの関係当局に連絡を取って邦人の被害について確認をする一方、在留届を確認して該当地域にお住まいの方に、直接ご連絡して安否を確認することができます。在留届は、このような災害時の安否確認にも使用いたしますので、届出内容に変更(住所や同居家族の変更等)が生じた場合には「変更届」を、帰国の際には「帰国届」をご提出いただくようお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>

Matsuri Japan Festival 2025は大盛況でした！

Matsuri Japan Festival 2025が12月7日(日)にUltimoにあるWentworth Park Sporting Complexで行われました。祭りの前日、前々日と猛暑が続きましたが、当日は過ごしやすい天気で、よかったです。この祭りには主催者発表で約3000人の観客が集まりました。

当日は、ステージパフォーマンスや日本文化ワークショップ、日本を紹介する展示ブース、日本食の屋台があり、多くの方がお祭りを楽しんでいました。浴衣やコスプレで登場した観客もあちこちに見られ、祭りに色を添えていました。JCSのクラブ活動であるJCS Hula Aloha

Hawaiian Group、シドニーソーラン踊り隊、JCS日本語学校シティ校の子どもたちによるソーラン隊がステージ出演をし、日本の祭りを盛り上げました。

今年は、メインステージに加え、アイドルステージもあり、アイドルたちのパフォーマンスは祭りに華やかさを添えていました。JCSのブースでは、着物や浴衣の販売と、金魚すくい、ヨーヨーのゲームを行いました。JCSはこのお祭りの後援のほか、祭り全体の運営にも役員を中心にボランティアでお手伝いをしています。

日本の祭りが、夏を感じさせてくれました！



新連載

イラオシ！ YouTube

今年から新しく始まるこのコーナーでは、毎月おすすめのYouTubeチャンネルをご紹介します。いつも同じチャンネルばかり観ていると、ついワンパターンになりがちですよね。他の人がどんな動画を観ているのか、ちょっとのぞいてみたら、「こんなチャンネルがあったんだ！」という新しい発見があるかもしれませんよ。

「週末ビフォーアフター」

<https://www.youtube.com/@Before-After>

幸せ住空間セラピスト・古堅純子さんが依頼者宅を訪問し、家族みんなが気持ちよく暮らせる環境を、あっという間に整えていくビフォーアフター番組。「対面キッチンの上が更地になれば『いらっしゃい！』ができますよ！」なんて、昭和の下町感あふれる歯切れのよい口調は勢いがあって面白い。片付けの考え方や実践的なテク



ニックも学べ、純子さんの前向きなエネルギーに満ちている。片づけが苦手、物を捨てられない、実家じまいでの家具が2軒分あるなど、それぞれの抱えている悩みに合わせて、部屋割りの見直しから大型家具の大移動、クローゼットや押し入れ収納の稼働率を上げる工夫を通して、快適で片づけやすい部屋づくりを実現していく。

これを短時間で可能にしているのは、Jフレンズ（通常約5、6人の女性）の存在。純子さん指揮の下、数部屋同時に効率よく作業を進めていく。日本の家庭に多いプラスチック収納、大量の幼児向け英語教材セットや、家族全員で寝るスタイルなど、「日本の家あるある」も垣間見えるのが興味深く、初めて綺麗に片付いた部屋を前に依頼者が涙を流すラストも多い。

恒例の日本映画祭が開催

毎年恒例の日本映画祭「The Japanese Film Festival 2025」（主催The Japan Foundation, Sydney）が、昨年11月27日から12月19日まで、シドニーをはじめ、キャンベラ、メルボルン、ブリスベン、パースの各地で催されました。

11月27日のオープニングナイトでは、話題の映画「国宝」が上映されました。当日はJCSの役員も招待されて鑑賞してきました。この映画については本誌「キネマ倶楽部」（14ページ）でも紹介されていますので、参照下さい。



（左から）渡部JCS会長、コック・シドニー市会議員ご夫妻、森国際交流基金シドニー事務所長、山中総領事ご夫妻



（左から）コステロJCS日本語学校シティ校代表、ホジュキンソン理事、チョーカー相談役、松隈副会長兼事務局長



ワインの話

「ワインの話」では、リーズナブルなワインでありながら、クオリティの高いオーストラリアのワインを紹介します。

Logan Vintage 'M' Cuvée 2022

★★★★★

OrangeにあるブティックワイナリーのLogan。オーストラリアの中でも標高の高い地域で作られる素晴らしい各種のワインは非常にクオリティが高い。創

設者Peter Loganはこのワイナリーを始めた時に他のワイナリーが使っているブドウではなく、RieslingやTempranilloといった特殊なタイプを使ってワインを作り始めた。今ではChardonnayやSauvignon Blanc、Shiraz、Merlotなどの人気なブドウも多く使っているがどれもコクがあって深みがある。このSparklingはChardonnayやPinot Noirを使い、少しゴールドのような色を持つ上質なワイン。ストロベリーの香りを持ちながらこれもまたコクがあってしっかりとした飲みごたえがある。クリスマスの時期にお勧めの素敵なバブリーだ。





佐藤至子

第129回 星を見る

小学生の頃、年末年始の冬休みにはいろいろな宿題が出来た。星座の観察をした年もあった。冷たい風の吹く夜、外に出てオリオン座や北斗七星を見たことが思い出される。

オリオン座を探す時は三つ並んだ星が目印になる。それらの星がオリオンの腰のベルトにあたることは子どもなりに理解していたが、実際に夜空を見あげると星はやはり星であって、そこから人間の姿を想像するのはなかなか難しかった。星と星とを結んで何かのかたちに見立てる力がなかっただけかもしれないが、当時の私にとってギリシャ神話のオリオンは馴染みがなく、具体的な物語や図像を思い浮かべられなかつたことが大きいのかもしれない。

流れ星が消えるまでに願いごとをするとかなうと教わったのは小学校に入る前だっただろうか。流れ星を実際に見る機会はあまりなかつたが、たまたま目にした時も願いごとをするどころではなかつた。あつという間に

星は消えてしまい、それだけに特別なものを見たという感動が強く残つた。



今はインターネットで星座や流星の映像をいくらでも確認できる。2025年の夏には火球(極めて明るい流星)が目撃されたとのニュースをネットで見た。それで思い出したのは幕末の絵入り小説『児雷也豪傑譚』八編(1848年)に出てくる、空飛ぶ怪しい光についての描写である。「越後の方より飛び物ありて虚空に光を現しつつ鎌倉の方に飛び行くを(略)人魂なりと言ふもあり、又かね玉也とも言ひて」とある。実は主人公の児雷也が妖術を使って飛行したのがそのように見えたという説明が後につくのだが、光るもののが長い距離を飛ぶという現象それ自体は火球を連想させる。ちなみに「かね玉」(金靈)は妖怪絵本『古今画図続百鬼』(1779年)にも出てくる。天から小判などのお金が飛んでくる怪異現象で、「人善事をなせば天より福をあたふる事必然の理也」(人は善いことをすれば天が福を与える、必ずそうなる道理である)との説明もある。怪異ではあるが不吉ではなく、むしろめでたい現象として描かれていると言つてよいだろう。

私のドリームホーム ②



全てサンドストーンにすると最初の予算を軽く100万ドルほど超えていたのでした。私は思わずアーケテクトとビルダーの前で、「高すぎ！！」と叫んだのでした。でももちろんビルダーは色々なオプションの見積もりを持って来つて、そのオプションは6つありました。

オプション1、ブロック塀のまま。オプション2、ブロック塀にレンダーをする。オプション3、ブロック塀に色のついたマックレンダーをする。(これをしてるとペンキでの色塗りは必要なくなります。)オプション4、サンドストーンに似せたタイルを使用。オプション5、サンドストーンに似せたブロックを使用。オプション6、本物のサンドストーン使用。

私が見た100万ドルオーバーのものはこのオプション6だったのでした。こんなに予算をオーバーするのならば、見た目より中身を選んでしまいます。アーケテクトがタイルのサンドストーンとブロックのサンドストーンを使用した仕事をしたことがある、ということでみんなで車に乗つて見に行くことにしました。タイルもブロックもそれほどみすぼらしくなく、普通の人にはその違いが判らないような気がします。こうして私達はオプション4を選んだのですが、もちろんここには消費税10%が加算されるのでやはり100万ドルの予算オーバーになつてしまふのでした。加えて最近の建設資材の高騰などで時間がかかるほどじわじわと値段が上がつていくのが目に見えます。

アーケテクトと相談の結果、仕事を2つに分けることにし、今回はとにかく家の前面のひび割れとガレージ及びその周辺だけをリノベーションすることになりました。家の後方の3枚の大きなドアを付けるというのは全く別の仕事なので、それらは次の機会に回すことにしました。こうしてなんとか大まかな値段などが決まり、カウンシルにコンストラクションサティフィケートの申請ができるようになりました。

(マイホーム)

大きな声では言えない話



方向音痴の必需品、グーグルマップ

私は、自慢じゃないけど、すごい方向音痴である。私の右脳の空間認識という機能がうまく働いてくれていないんだと思う。デパートに入っても、買い物したりした後に、「さあ出よう」とすると、「あれ？ 入口はどこだったっけ…」と迷ってしまうのである。売り場を見ていて、トイレに行った後その売り場に戻ろうとすると、もうその売り場にたどり着けない…そんなことはめずらしくない。友だちと待ち合わせをしたとき、なぜか待ち合わせの場所が見つけられず、結局友だちに自分を見つけて来てもらった、なんていうエピソードもある。

まだGPSがない時代、目的地に行くとき、ロードマップをそのまま見ても、上(北)に行くんだか下(南)に行くん



ここが気になる

捨てられているシェアバイク

最近シドニーの町中でよく見かける電動自転車のシェア-Bike Sharing。City of Sydneyのウェブサイトを見てみると3000台以上のシェアバイクがあるようです。特に大学の近くや大きな駅の周りではバイクが綺麗に並ん

だか、右(東)に行くんだか左(西)に行くんだかわからないので、常にぐるぐるとロードマップを回していた記憶がある。(笑) 車を駐車場において用事を済ませてから車に戻ろうとすると車の場所がわからない、なんてのはしょっちゅうあった。だから、私も学習して、今では、車を停めるとき、必ずグーグルマップで自分の居場所を確認しスクринショットをとるようにしている。そして、どこどこに停めたとかメモを残したり、周りの写真を撮ったりするようにしている。

グーグルマップを使い始めたばかりのときは、今ひとつ使い方がちゃんとわからず、逆方向に行ってしまい、あとで「あれ？」というようなこともよくあった。飲み会の幹事の人に「あと10分で会場に着きま～す」なんて連絡したくせに、会場に着いたのは1時間後だった、なんていうこともあった。さすがに最近はグーグルマップにも慣れてきたので、だいぶマシになった。今は、GPSができる、本当に便利になったと思う。ありがたや、ありがたや。それでだいぶ助かっていることは確かだが、それでも、基本的に、私の方向音痴は健在だ。(ケーエム)



でいるのを見かけます。もちろん自転車の籠の中にはヘルメットが置いてあります。ところが少し離れた場所や人通りが少ない場所などではシェアバイクが放り出されたように捨てられているのを見かけます。籠に入っているはずのヘルメットもなくなっています。私はシェアバイクを利用したことはありませんが、せっかくこのような便利なものができたにもかかわらず捨てられたようになっているのを見るのは大変残念です。皆さんはどう思いますか？

(青い鳥)



ラグビーリーグアジア選手権で日本は3位

以前にもお知らせしましたが、11月にフィリピンでラグビーリーグ(13人制ラグビー)のアジア選手権が開催されました。(日本、フィリピン、シンガポール、香港が出場。)

日本代表は、シンガポール代表との1回戦では、4-48で負けてしまい、香港との3位決定戦に進出。香港



には、34-30で勝利し最終順位は3位となりました。決勝は、シンガポールがフィリピンを62-0で下しての完勝でした。日本やオーストラリアから参加した選手やサポーターの皆さん、お疲れ様でした。(ぴか)

会員の皆さんからの情報も受け付けています。Eメールは、kenerit@gmail.comです。よろしくお願いします。(ぴか)



が見とれてしまうぐらい、きれいだし、女らしいしぐさや立ち居振る舞い、一音、指先の動き一つに至るまで、なんと繊細に表現していることか。役者ってすごい！と思った。渡辺謙や田中泯など他の俳優陣もいい味を出している。そして、映画自体、すばらしい出来に仕上がっていいる。衣装や化粧などを含め、映像がなんとも美しい。迫力と華やかさも兼ね備えている歌舞伎という世界に、引き込まれ、魅了されてしまった。この映画を見て、今度日本に行くときには絶対歌舞伎を観に行こうと思った。

(★★★★★ ケーエム)



国宝

監督:李相日

出演:吉沢亮、横浜流星、渡辺謙、高畑充希、田中泯 他

原作:吉田修一『国宝』(朝日新聞出版)

●作品概要

本誌10月号Art Reviewで紹介された『国宝』。今回はキネマ俱楽部でも、あえて紹介する。シドニーの日本映画祭でも、ひときわ大きな反響を呼んだ壮大な芸道映画。日本映画の歴史に刻まれる、美しく熱い傑作であることは間違いない。任侠の家に生まれながらも歌舞伎役者の家に引き取られ、芸の道に人生を捧げた男、喜久雄の50年を壮大なスケールで描いた一代記。誰も見たことがない禁断の歌舞伎の世界。キャストには、豪華俳優陣の顔ぶれが並ぶ。

感想① 吉沢亮(喜久雄)、横浜流星(俊介)。一体どれだけ稽古したんだろう。本当にすばらしかった。女の自分

感想② 映画を見ているというよりも、3時間の歌舞伎を見ている錯覚に陥りました。そして本物の舞台から見る歌舞伎とは違って、俳優の息遣いや汗まで見えるのはやはり映画を見ているんだなと何回となく思われるほど完成された映画だと思いました。切り取られた映像の全てが芸術的で、歌舞伎の舞台、衣装、化粧、そして忘れてはいけないのは舞台上の地方(じかた)笛方、小鼓方、大鼓方、大太鼓方と黒衣(くろご)小道具の出し入れや役者の衣装の早変わりなどを手伝う人々が全く邪魔にならず存在感を残さずいるけれども、映画を更に際立たせているように感じました。この方達は役者ではなく本物のプロなのでしょうか。吉沢亮と横浜流星の代表作になるような映画だと思いました。3時間があつと言う間でした。

(★★★★★ 青い鳥)

感想③ ネタバレ注意！俳優はどんな役にも対応できるよう、時間があれば乗馬や日本舞踊、武道を学ぶと聞いたことがある。吉沢亮と横浜流星は、撮影の1年半以上も前から日本舞踊や行儀作法を学び、歌舞伎の舞の一つひとつにまで全身全霊で取り組んだ作品だ。二人の研鑽と情熱が映画全体をグレードアップさせたのは言うまでもない。豪華絢爛な衣装や四季折々の風景の美しさに加え、喜久雄の女形としての気品としなやかな舞、俊介の凛とした存在感と色気の競演が素晴らしい。背景の異なる若い二人が、親友として、そしてライバルとして切磋琢磨しながら、人生をかけて歌舞伎の頂点を目指していくというテーマだが、全く古臭さを感じさせなかった。喜久雄を支え続けてきた春江(高畑充希)が、なぜ俊介とともに姿を消してしまったのか疑問だったが、もしかしたら二人は「喜久雄の芸に負けてしまった」と感じたのかもしれない、今は思っている。吉沢亮と横浜流星の役者魂を感じさせた、見事な作品だと思った。

(★★★★★ 向日葵)



キラリと光る あの人・この人

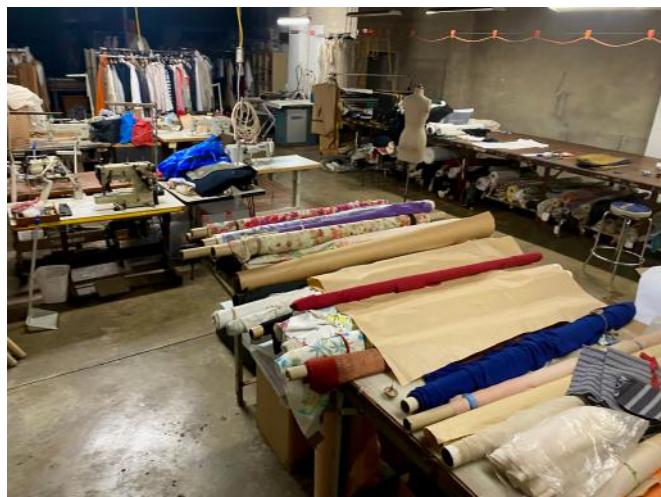
人物
紹介
第106回



Akira Isogawaさん

ファッションデザイナー

新年の「キラリと光る」は、Akira Isogawaさんにお話を聞きました。オーストラリアで最も著名なファッションデザイナーの一人であり、テキスタイル、ファッション、衣装デザイナーとして知られています。京都生まれ、シドニーを拠点とするAkira Isogawaさんは、1993年に自身の名を冠したレーベルを設立し30年以上にわたりコレクションを発表してきました。その活動はシドニーとパリでの活動を基に形作られてきました。Akira Isogawaさんの作品は、ビクトリア国立美術館での個展や芸術科学博物館での大規模な回顧展など、世界30以上の展覧会で展示されています。オーストラリア・バレエ団、西オーストラリア・バレエ団、シドニー・ダンス・カンパニーの衣装、オーストラリア室内管弦楽団の舞台ユニフォームもデザインし、現代美術への貢献を際立たせています。オーストラリアファッション賞受賞、オーストラリアデザイン協会の殿堂入り、そしてオーストラリア郵便局からオーストラリアの伝説として認められ肖像画の切手が作られ掲載されました。



Akiraさんは昨年、西オーストラリアバレエ団の衣装製作のために1ヶ月ほどパースに滞在され活動されていましたが、今年の目標や計画は、ござりますか？

「2026年はメルボルンファッションフェスティバルが2月にあります。新しい物を作るには、新しいスペースが必要で、今、頭の中にも、空間的にもスペースを作っています。昨年は美術館に数千枚の衣装をアーカイブドネイションしました。」

Akiraさんの発表された衣装が美術館で保存記録されるのは次の世代の人々にも見てもらえる良い企画ですね。

現在は、UTSのファッションデザイン科、White House Institute of Designで講師をされて、デザイナーの育成にも力を注いでおられます。これらの学校は現在のファッションデザイン界で信頼の高い名門校です。新しいデザイナーを導きながら自分でもファッションデザイン界の先頭にたってデザインを発信し続けるAkira Isogawaさん、これらも目が離せません。

2026年の5月位にアーカイブセールを企画しているそうです。Akira Isogawaさんの衣装デザインが購入できます。詳しい開催日はAkira IsogawaさんのFacebookをチェックして下さいね。楽しみです。





バイク おばちゃんが 行く！その1

ピアスやすこ

昨年2025年9月の話になりますが、夫と二人で元共産主義国の東ヨーロッパに旅行した時のお話を隔月で紹介したいと思います。因みに今回の旅はバイクではありませんでしたが、お許しを。

まず、最初の国は黒海の側にあるルーマニア。私はルーマニアに大変興味を持っていました。というのも、1989年に起きたルーマニア革命の時に私はイギリスに住んでおり、独裁者チャウチェスク政権崩壊後のルーマニアをBBCが取材したドキュメンタリー番組を観た時に受けたショックが忘れられなかったからです。そこには、チャウチェスクが残した爪痕、悲惨な人々の生活が映し出されていました。チャウチェスクは人口増加目的で避妊や中絶を禁止したため、たくさんの子供が生まれたのだけど貧困のため大勢の子供が孤児院に収容されたのです。そこの環境は劣悪でした。子供たちは、男の子も女の子も丸坊主、全員白い上下の囚人のような服を着せられ、虚ろな目で何をするでもなくぼんやりと冷たい床に座っていました。精神的に障害のある子は床に座って壁に頭を打ち付けて一日を過ごしていました。子供らしい明るい笑い声は、ひとつも聞こえてきませんでした。スープだけの食事、その子達を世話する人たちは人手不足で、一人一人に構っていられないとインタビューに答えていました。私はその後のルーマニアがどう変わったかこの目で見たかったのです。

首都ブカレストに飛行機が着くとUberを呼び、予約しておいたホテルに向かいました。夫のルーマニア出身の同僚が、エアポートから乗るタクシーには、外国からの観光客だとわかると絶対にぼったくられるから、タクシーには乗るな、Uberを使えとありがたい助言をしてくれていました。Uberは最初から値段がわかっているから安心ですね。自分自身これまで使ったことがなかったので、ここで初めてUberの良さを知った時代遅れの私でした。

翌日はツアーに参加して、ルーマニア革命に加わった当時15歳だったという男性の話を、チャウチェスクが暴

動を弾圧しようと演説していた建物の前で聞きました。その暴動に参加した彼の隣にいた親友は政府軍に銃撃され亡くなっています。革命で1200人以上の市民が政府軍によって殺されたとのことでした。政府が自国民を殺すなんて日本では考えられないことです。コミュニケーションの独裁者とはこういうことなんですね。

スピーチの後でその男性と少し話をさせていただいたのですが、私が日本人だと知るととても喜んで、彼が生まれた時、彼の父親は彼に日本人の名前を付けたかったのだけど、ルーマニア人には覚えにくい名前で周りの反対もあり仕方なく諦めたということでした。その名前は苗字と下の名前が一緒になった長い名前で、私も苦笑



首都ブカレストの繁華街



ルーマニア革命のスピーチをしてくださった男性エゴモントさん

いをしました。でもお父さまが尊敬していた人が日本人だったということに私は驚き、嬉しくて親近感を抱きました。

ここでチャウチェスク大統領について簡単に説明いたします。国民が飢えで苦しんでいるのに自分は国民から取り上げた農作物や工業品を輸出して得たお金で私腹を肥やし贅を尽くした生活をしていたのです。怒った市民、労働者の反政府派との戦いの末、逃亡するも捉えられ裁判にかけられ夫婦ともに死刑にされた人物です。

これまで革命などは日本に関係のない話だと思っていた私でしたが、実際に体験した人の話を聞き身が引き締まる思いでした。独裁者の悪行三昧が次々と暴かれ彼らは裁かれ、遠山の金さんだったらこれにて一件落着となるところですが、国の再建は一朝一夕にはまいりません。 To be continued.



My Favorite Photo

自分にとって忘ることのできない写真、いつも飾っている思い出の写真、二度と撮れないシャッターチャンスの写真、大好きな人・有名人・尊敬する人との記念の一枚…など、My Favorite Photoを文章とともにお送りください。



12月の日本の祭りでの一コマを撮った写真を紹介します。

祭りでは着物やコスプレで来場された方の入場料はもちろん無料となっていますので、そういった方々がイベントを盛り上げてくれ大変有り難く思っています。

その中でも今回際立っていたのがこのお三方！私の左から、チェーンソーマン、カオナシ、ポケモンが揃い踏み。そしてその中に入っている人たちに会って2度びっくり！何と、チェーンソーマンはベンディゴバンクのオスカーさんで、彼の子供達が残りの二つの被り物の中に入っていました！

コミュニティバンクとして休日も地域の皆さんにサービスをしようという涙ぐましい努力に心から敬服した日でした！(渡部)



外食日記



Guilin Rice Noodle(肥佬桂林米粉)

住所: 422 Victoria Avenue, Chatswood NSW 2067

予算:\$20

営業時間:毎日11:00-20:00

雰囲気 7、料理 8、サービス 7



今月はChatswoodにある桂林の麺料理です。駅の近くに中華系のお店が集まっている建物があり、ランチを取ることにしました。オーダーの方法は、スープの麺(スープの種類は酸辣やトマトなどの種類があります)または、混ぜる(和える)タイプの麺かを選び、具の種類(牛肉、豚肉それぞれ幾つかバリエーションがあり複数選択も可)を指定します。

今回はどちらも和えるタイプにして、具をそれぞれ鍋焼(Crispy Pork)、肥腸+猪肚(Pork intestines+Tripe)(写真)にしました。できあがると自分で取りに行くシステムですが、トッピングは自由にできて刻みネギや揚げた豆が取り放題です。上の麺と下のスープをひっくり返して、よく混ぜてから食べます。スープの量は少ないですが、醤油ベースのコクと少し酸味があり、やや柔らかい麺とよく合います。豚のホルモンは歯応えも良く、美味しかったです。



仏教語からてきた 日本語 その232



渡部重信
sydneyhongwanji@gmail.com
浄土真宗本願寺派[西本願寺]
オーストラリア開教事務所長

無尽蔵(むじんぞう)

今日は、尽きることが無い蔵と書く無尽蔵についてのお話です。仏教の教えは、尽きることのない無限の功德の宝庫とも言えますので、そのことを尽きることのない財宝の蔵に喻えて表した言葉です。また、寺院に布施されたものを、必要に応じて低利で貸し出した金融機関や、中国の寺院が飢饉の際に貧民救済を目的として、布施されたものを蓄えた蔵の呼称でもあります。

貧民救済の役割を果たした無尽蔵は仏教による福祉貢献の源流とも言えます。これは日本の社会福祉の基本的なしくみと類似しています。つまり、無尽蔵は布施を蓄えそれを必要に応じて分配しているのに対し、社会福祉は税金を蓄え、それを必要に応じて社会福祉サービスとして分配しています。社会福祉は分配を行う方法として多岐にわたる社会福祉関係法を発展させてきたので、複雑でわかりにくいですが、基本的なしくみは単純化すれば無尽蔵と同じです。但し両者の間には見落としてはならない違いがあります。それは、無尽蔵は尽きることの無い「仏法」を背景に、真の人間救済を実現しようとするのに対して、社会福祉は「法律」を根拠に人間を救済しようとしている点です。「仏法」は普遍の法(ダルマ)ですが、社会福祉の「法律」は、児童福祉法、老人福祉法にしても、いくら分化、細分化しても完備することはありません。法律の隙間ができると、それを埋めるための法律がつくられ、幾重にも法律が社会福祉の骨組みとしてでき上がっていくという図式があります。また、普遍の法は人間を暖かく包むのにたいして、社会福祉の法律は人間と人間の間に介入はできても、その距離を縮めることはできません。今や、人間が作った法律によって人間の「孤立化」に拍車がかかっているのではないかでしょうか。近代的な社会福祉施設の中で、人間不在の法律に沿ったサービスが行われるのであれば、私はそこに入るのは躊躇するでしょう。オーストラリアの福祉施設がどれくらい人を人として暖かく受け入れてくれているのかが気になるところですが、私は尽きることのない広大で無尽蔵な仏法に通じるような場所に身と心を置きたいと思います。

最後になりましたが、JCSより愛読者の皆さんに今年一年健やかにそして安全に過ごせますよう念願する次第です。合掌

法律Q&A 弁護士に 聞いてみよう 216

主任弁護士 林由紀夫 (H & H Lawyers)



Q: 最近、SafeWork NSWが、「心の健康(Psychosocial Risk)」について会社を厳しくチェックするようになったと聞きました。本当ですか?

A: 本当です。特に、従業員からクレームがあった場合には、SafeWork NSWは、職場でのストレスや過度なプレッシャー、ハラスメントなど、働く人の心の健康に影響する問題について、企業の対応をより厳しくチェックするようになっています。これまでではケガや事故など「身体の安全」が中心でしたが、今は心の健康も同じくらい大切だと考えられています。

Q: 「Psychosocial Risk(心理社会的リスク)」とは、何のことですか?

A: 簡単に言うと、「仕事のやり方や職場の人間関係などが原因で、心に過度な負担がかかる」とです。例えば、仕事量が多すぎる、常に時間に追われている、上司に相談しにくい、嫌な言動を我慢しなければならない、といった状況が当てはまります。これは「その人が弱いから」ではなく、職場の仕組みや管理の問題として考えられています。

Q: 会社にメンタルヘルスの方針やルールがあれば大丈夫ですか?

A: 残念ながら、それだけでは充分ではありません。SafeWork NSWが注視しているのは、「ルールがあるか」ではなく、実際に従業員が守られているか、役に立っているかです。例えば、忙しすぎる状況が続いているか、困ったときに相談できる仕組みが本当に機能しているか、といった点が重視されます。

Q: 会社が注意を受けやすいのはどんな状況ですか?

A: よくあるのは、「忙しいのは仕方がない」として業務量過多を放置しているケースです。また、問題が起きてから慌てて対応する「後手の対応」も指摘されやすくなっています。「業界では普通」「みんな頑張っているから」という理由は、通用しない時代になっています。

Q: 会社は何をすればよいのでしょうか?

A: まず、今の職場にどんなストレスの原因があるのかを確認し、モニターし続けることが大切です。その上で、仕事の分担を見直したり、上司が相談に乗るようにしたり、安心して声を上げられる環境を整えることが求められます。外部相談窓口(Employee Assistant Program)も役立ちますが、それだけに頼らず、職場そのものを改善していくことが重要です。

Q: 対応しないと、どうなりますか?

A: SafeWork NSWから問題点の指摘・指導や、書類の提出を求められることがあります。改善が見られない場合には、罰則の対象となる可能性もあります。心の健康への配慮は、今や「特別なこと」ではなく、働きやすい職場づくりの基本といえるでしょう。

●今月の表紙 『地球史の生き証人』ボツワナ

乾季のピーク時、隣国で降った雨が数ヶ月かけて流れ着き、世界最大の内陸デルタと変身する世界遺産オカバンゴ・デルタ。
魔法のオアシスのようなその場所で一対のバオバブに遭遇した。
樹齢数千年にも達するというバオバブは途方に暮れるほどの長い時間、地球の変化を静かに見つめてきたのだ。
新年を迎え、地球史の生き証人はまた新たな一年を刻む。



フォトラベラーYori / ネイチャーフォトグラファー、トラベルライター、グラフィックデザイナー
phototraveller.com / Facebook/Instagram @yori.hirokawa

編集後記

▼うちに猫のティンティンが住み着いてから4か月。8月の終わりごろ「にやおにやお」というか細い声が聞こえてきたので見に行くと、猫が隠れていた。餌もあげなかつたのに数日続けて声が聞こえてくる。VETに連れて行ったら、猫の名前はティンティンというオス猫で、オーナーはうちのすぐ近所の人だということがわかった。そのお宅に行くとオーナーは長期不在だったが、その家族の人たちに会ってティンティンを返した。だが、翌日、また猫の声が聞こえてきた！ティンティンは、私たちのうちに戻ってきたのだ！それ以来、私たちのペットになった。世話は大変なこともあるけど、やっぱりかわいい。今や私たちのスマホには、猫の写真やビデオがたくさん入っている。ティンティンに癒されることも多いのだ。私たちのペットになってくれて、ありがとう！（ケーエム）

シドニー日本クラブ役員

名誉会長 在シドニー日本国総領事
相談役 Chalker 和子
会長 渡部 重信
副会長 松隈 由紀子(事務局長兼任)
副会長 水越 有史郎
理事 阿部 直子
理事 斎藤 なお子
理事 Hodgkinson 恒子
理事 堀場 健太
理事 葛西 哲也
理事 林 さゆり
専門理事 飯島 浩樹(親睦の会会長)
専門理事 Murn 薫(編集委員会編集長)
専門理事 Costello 久恵(シティ校代表)
専門理事 Read 晶(ダンダス校代表)
専門理事 水越 有史郎(教育支援委員会・エッジクリフ校代表)
事務局 松隈 由紀子(事務局長)・Richter 幸子(会計)
監事 岩佐 いづみ(会計監査)・多田 将祐(会計監査)
クラブ代表 シドニーソーラン踊り隊(渡部 重信)
JCS フラアロハ(Gault 良子)
ソフトボール部(安達定儀)
編集委員会 マーン 薫(編集長)・渡部重信・水越有史郎
西牟田佳奈・佐藤 薫・大塚藤子・林由紀夫・多田将祐
坂口 潤・斎藤 なお子・大塚るる・松下友紀



投稿原稿募集！

会員の方の生の声を募集しています。本誌を読んでの感想や、誌面に対する注文、会に対しての要望、日頃感じていることなど、何でも構いません。皆さんからの率直なご意見や、誌面に対する感想などが、今後の誌面作りに多いに役立ちます。また、絵や写真、詩、俳句、短歌などでも構いません。お気軽に寄せください。
原稿は、趣旨を変えない範囲で手を加える場合があります。文字数は最大1000文字です。投稿原稿は、誌面や内容、時期などの都合により掲載を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

告知板について

「告知板」は会員の方が「売ります」「買います」「教えます」など、個人の広告を掲載するコーナーです。会員の方なら、一回に限り無料で掲載できますので、ご利用下さい。

JCSだより原稿送付先

原稿は毎月15日迄に、マーン 薫編集長宛に、またはJCS事務局宛に、
Email (k.murn@jcs.org.au) か郵送にてお送りください。

JCS事務局連絡先

本誌やJCSに関するお問い合わせは、Japan Club of Sydney Inc.
PO Box 1690, Chatswood NSW 2057 電話: 0421-776-052 (9時~18時)
Email: jcs@japanclubofsydney.org (松隈由紀子) まで。

会員特典

JCS の会員の皆さんのが受けられる特典です。
ぜひ、ご利用ください。

日本ブレーンセンターオーストラリア (NBCA)

Suite 23, 9 Milray Street, Lindfield 2070

Phone: 0404-027-407

Email: nbca.yamaguchi@gmail.com

www.nbca.com.au

担当:人材 加藤、翻訳 山口

移民局に提出する戸籍謄本と書類の英語への翻訳をJCSの会員の皆様には20%割引で承っております。長期短期の入材紹介及び入材登録をきめ細かくお世話させていただいております。皆様のご連絡をお待ちしております。

甘利会計事務所

Amari Tax & Accounting
Suite 2, Level 2, 88 Pitt Street, Sydney 2000
Phone: (02) 9223-7448
Email: info@taxjp.com.au
新規顧客に特典
JCS会員の皆様のタックス・リターンの申請・作成に当たり、料金から15ドルを割引いたします。お支払いの際にこのクーポンをご提示下さい。同時に二人以上で申請される場合にも、1枚で全員に適用できます。

ほんだらけ フル・オブ・ブックス

Level 2, 39 Liverpool Street, Sydney 2000

Phone: 02-9261-5225 Email: hondarake@gmail.com

Website: http://fullofbooks.com.au

シドニー最大の日本古書籍買取・販売店。海外にいても手軽に日本の本・CDなど選べる嬉しい店内在庫8万点をご用意しています。買い取りも随時受付中。

JCS会員の方へは、本・CD・DVDのお買い上げを5%特別割引致します。JCS 年会費支払いのコピーをご提示下さい。(セール商品や化粧品など一部除きます、ご了承下さい)

本誌広告案内

広告締切は毎月15日です。広告データ(掲載できるアートワーク)を、メールで、
jcs@japanclubofsydney.org まで送付ください。

広告スペース	広告サイズ	料金 (1回のみ)	会員割引料金 (1回のみ)	会員割引料金 (6~11カ月)	会員割引料金 (12カ月以上)
1ページ	横18cm×縦27.0cm	\$ 220.00	\$ 176.00	\$ 154.00(月額)	\$ 132.00(月額)
1／2ページ	横18cm×縦13.2cm	\$ 132.00	\$ 99.00	\$ 88.00(月額)	\$ 77.00(月額)
1／3ページ	横18cm×縦8.6cm	\$ 99.00	\$ 77.00	\$ 66.00(月額)	\$ 55.00(月額)
1／6ページ	横8.7cm×縦8.6cm	\$ 55.00	\$ 44.00	\$ 38.50(月額)	\$ 33.00(月額)

広告を申し込む際は、上記のサイズ・期間・料金を明記の上、完成された広告データ(正しい広告サイズで、読みやすく仕上がったアートワーク)を、事務局宛にメールでお送りください。銀行振込は以下の口座宛にお振り込みください。締切は毎月15日必着です。
※広告内容が本誌に相応しくないと判断した場合、掲載をお断りすることがあります。ご了承ください。
※JCSでは本誌掲載の広告内容に関しては一切責任を負いかねますので、その旨ご了承ください。

広告会員料
支払方法

■会費納入届または広告原稿を小切手と共にJCS事務局まで郵送する場合

小切手の宛名は「Japan Club of Sydney Inc.」でお願いいたします。

郵送先:Japan Club of Sydney, PO BOX 1690, Chatswood, NSW, 2057

■会費納入届または広告原稿をメールで送り、会費を銀行振込する場合

振込時に、登録会員名(フルネーム)と電話番号をDescription/Reference欄に必ず入力して下さい。

お名前がない場合は、支払い元不明で未払い扱いになるためご注意下さい。

振込先 Account Name: Japan Club of Sydney Inc. BSB No: 032-002 Account No: 51-3156

■会費納入届をオンラインでする場合 → <https://forms.gle/AD7bG13tdPCs2SJB8>

会員継続の場合は、会費納入届を提出してください。 オンラインの場合は **こちら**